

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月12日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	岡田一幸 化学療法委員会承認 平成 30年 12月
レジメン名	トラスツズマブ【2回目以降】+XP(ホスアプレビタント)		
疾患名	胃がん	適応の備考	対象:HER2陽性胃がんのみ
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り コース催吐性リスク高度
抗がん剤投与量・投与日	トラスツズマブ6mg/kg day1、シスプラチン80mg/m ² day1、カペシタビン2400mg~4200mg/body 分2経口投与 day1夕食後-day15朝食後		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●																				
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	トラスツズマブ	6 mg / kg		●																				
		注射用水100mL	1 本 / body		●																				
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	ホスアプレビタント注150mg	1 本 / body		●																				
4	主ルート	パロセトン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
		デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●																				
5	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m ²		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
6	主ルート																								
	点滴静注	フィジオ140輸液500mL	2 本 / body	2 時間	●	●																			
7	側管	生食100mL	1 本 / body				●																		
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body	30 分			●																		
8	側管	生食100mL	1 本 / body					●	●																
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	2 本 / body	30 分				●	●																
day4は主ルート																									
9	経口投与	カペシタビン	9999 mg / body			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
		分2 医師の指示通り																							
		(体表面積) 1.36m ² 未満 1回1200mg/body																							
		1.36~1.66m ² 未満 1回1500mg/body																							
		1.66~1.96m ² 未満 1回1800mg/body																							
	1.96m ² 以上 1回2100mg/body																								
day1夕食後-day15朝食後まで服用																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ2回目以降投与の患者に使用する
 トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg day1
 トラスツズマブの投与時間は、初回投与90分、2回目以降は30分可
 トラスツズマブ: 次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。
 シスプラチン: 希釈は生食のみ。
 シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。
 カペシタビンは、C法で投与する。体表面積にあわせて、day1夕食後-day15朝食後まで服用し、その後7日間休薬
 ・ホスアプレビタントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
 ・ホスアプレビタントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
 ・ホスアプレビタントの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。